



JANOG46 Hackathon Wrapup & Winner

2020/08/28

JANOG46 Hackathon Staff + Winner

JANOG46ハッカソンは全てオンラインで開催

- 日時

- 7/29日(水) 19:00-20:00 事前相談会/アイデアソン
- 8/22日(土) 10:00-22:00 ハッカソン本番＋懇親会
- 8/26(金) 13:15-13:45 Wrapup&Winner発表

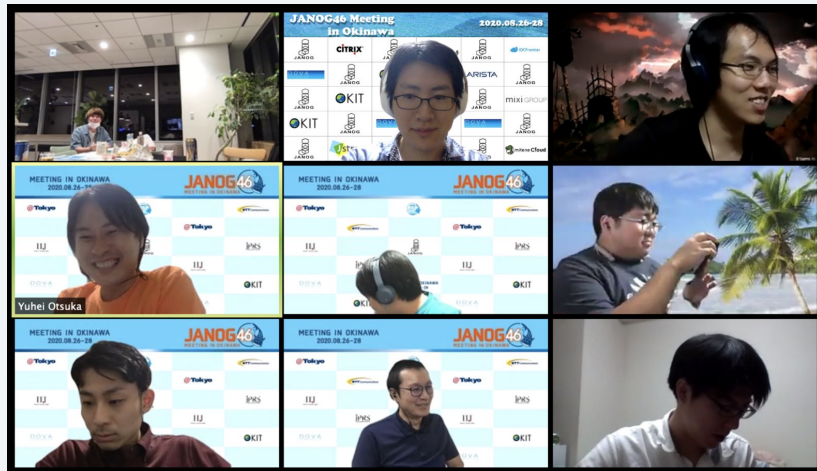
- 開催場所

- オンライン

- 参加者

- 一般参加者:10名
- スタッフ:10名 *0rgスタッフ1名含

時刻	内容
10:00 - 10:30	Opening / チーム紹介
10:30 - 17:30	Hack Time!
17:30 - 17:40	休憩
17:40 - 18:30 ★配信有り	成果発表
18:30 - 18:40 ★配信有り	休憩
18:40 - 19:00 ★配信有り	結果発表 / Closing
20:00 ~ 22:00	懇親会



ハッカソンスタッフ



大塚 悠平

株式会社NTTPCコミュニケーションズ

好きなポート番号：179



橋口 直弘

株式会社IDCフロンティア

好きなポート番号：123



印丸 裕貴

麻生情報ビジネス専門学校

好きなポート番号：8080



押川 侑樹

NTTコミュニケーションズ株式会社

好きなポート番号：80, 443, 8080



加藤 史章

株式会社NTTPCコミュニケーションズ

好きなポート番号：22, 179



塩沢 啓

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

好きなポート番号：43



嶋 勝也

シスコシステムズ合同会社

好きなポート番号：1589



波左間 貴大

NTTコミュニケーションズ株式会社

好きなポート番号：443



吉川 尚希

NTTコミュニケーションズ

好きなポート番号：53, 546, 547

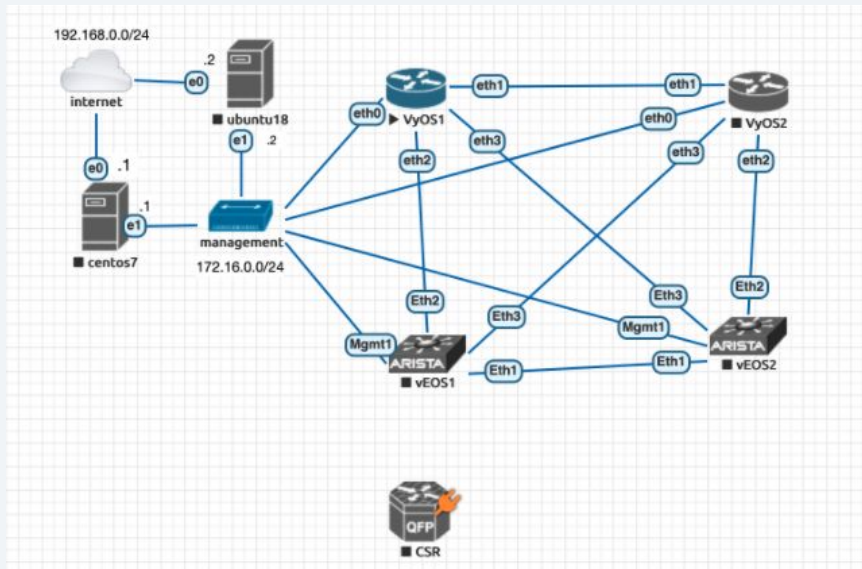
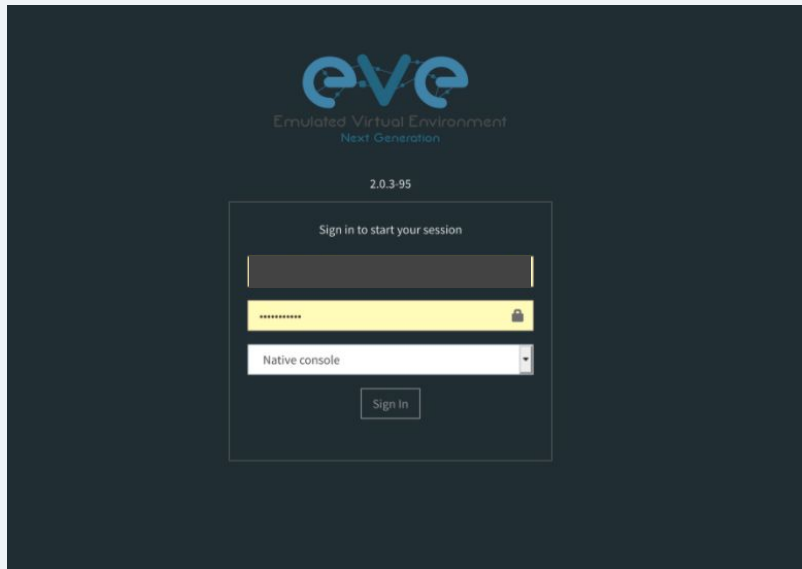
結局一度も対面せず。。

JANOG46ハッカソンの取り組み

- スタッフによる事前ハッカソンの開催 *J45から継続
- アイデアソン / 事前相談会の開催 *J45から継続
- ハッカソン当日成果発表会のストリーミング配信 ***New!**

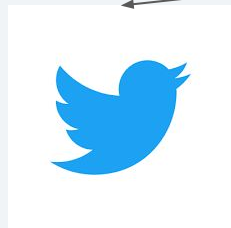
ハッカソン開発環境 JPNICさん提供ありがとうございます！

- eve-ng上に仮想ルータやLinuxをデプロイした開発環境に参加者に提供手ぶら参加OK!)
- 参加者がより開発に集中出来るよう環境構築やカスタマイズは事前実施



当日のコミュニケーション方法

ストリーミング視聴者



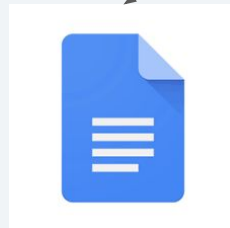
Twitter



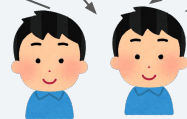
Slack



Zoom



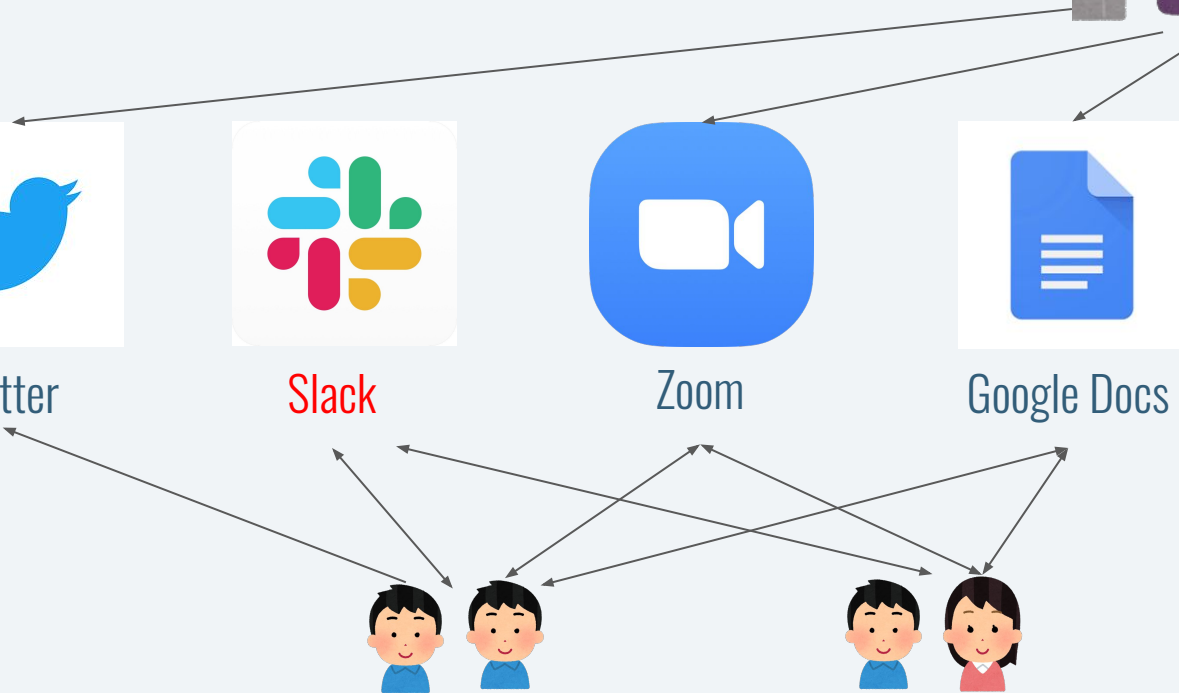
Google Docs



スタッフ



参加者



ハッカソンテーマ

Team KOAN

開発テーマ: Nagios外部連携の実装

Team NTPC

開発テーマ: Traffic Newsをつくってみた

Team MF *Winner!

開発テーマ: OneLinePrinter

Hackathon Winner決定方法について

- 参加者＋スタッフ＋配信視聴者による投票で決定
- 「まあまあ(1)」、「良かった(2)」、「とても良かった(3)」の三段階評価で最も平均点が高かったチームをWinnerとする
- 投票用URL & QR

<https://forms.gle/TUFmxgP5NNcEpTpV9>



投票用QR

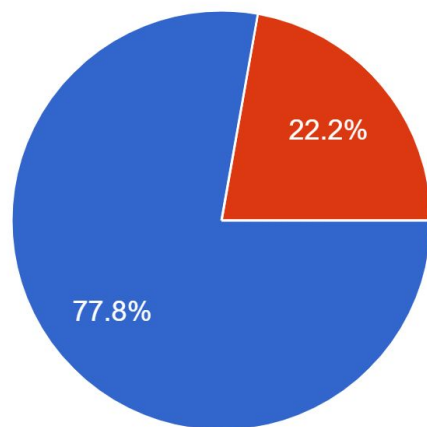
Winnerチームより発表 !!

Team MFさん「OneLinePrinter」

アンケート結果

あなたの立場を教えてください

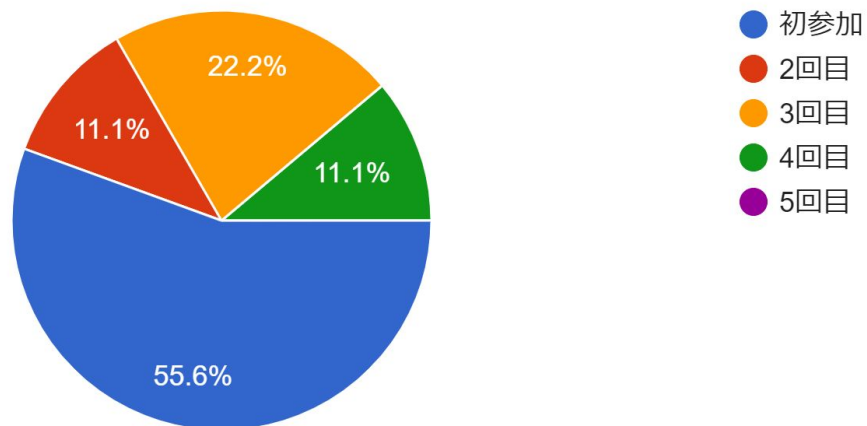
9 件の回答



- ハッカソン参加者
- ハッカソン運営委員
- 見学者

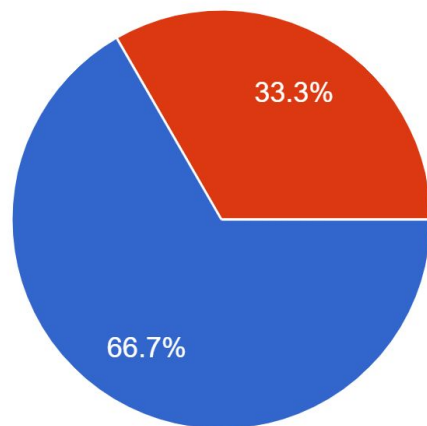
JANOGハッカソンの参加回数を教えてください

9件の回答



JANOG46ハッカソンの評価を教えてください

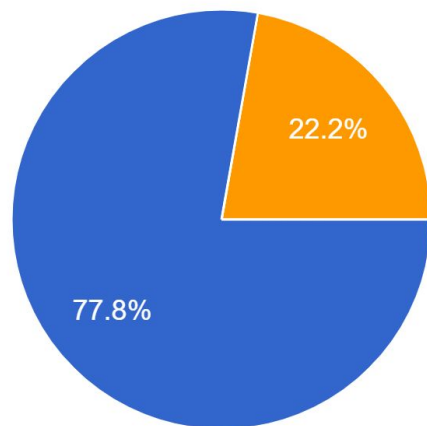
9 件の回答



- とても良かった
- 良かった
- 良くなかった
- とても良くなかった

次回JANOGハッカソンが開催されれば参加したいですか？

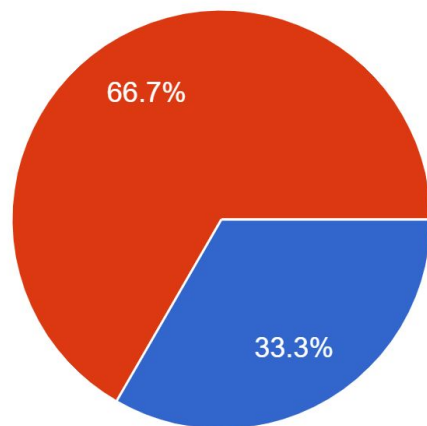
9 件の回答



- 参加したい
- 参加したくない
- どちらとも言えない

次回JANOGハッカソンが開催されるとしたらどのような開催形態が良いですか？

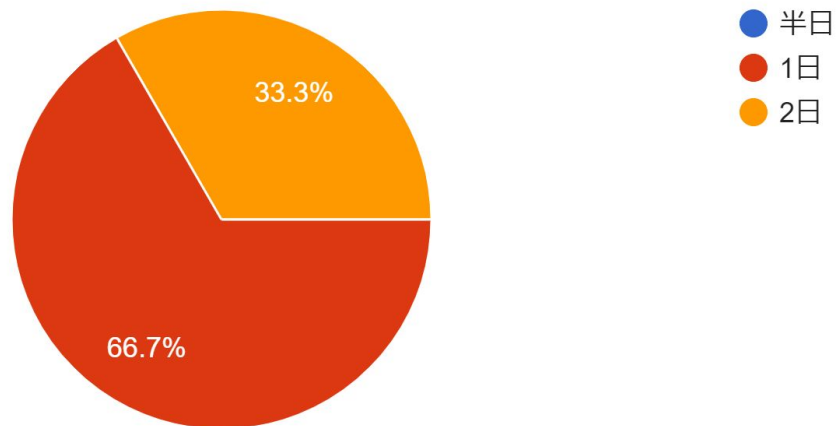
9件の回答



- 新型コロナウイルス収束後も、今回のようなオンラインでの開催がよい
- 新型コロナウイルス収束後は、今まで通り現地での開催がよい

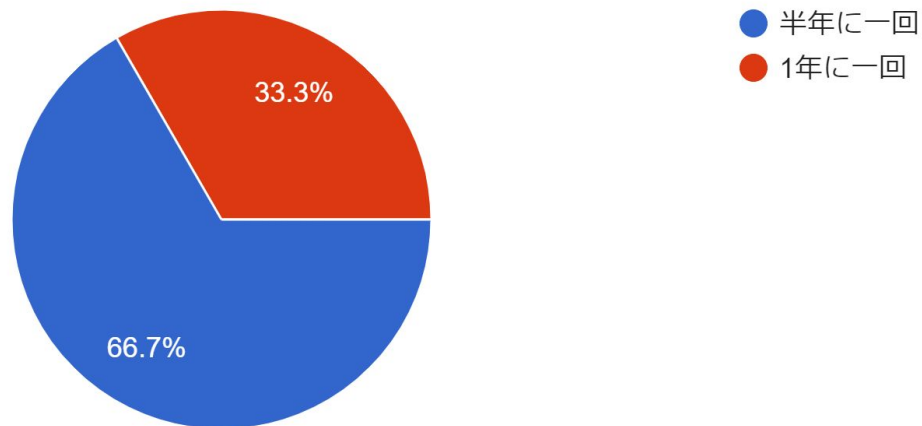
適切だと思うハッカソンの開催時間を教えてください

9 件の回答



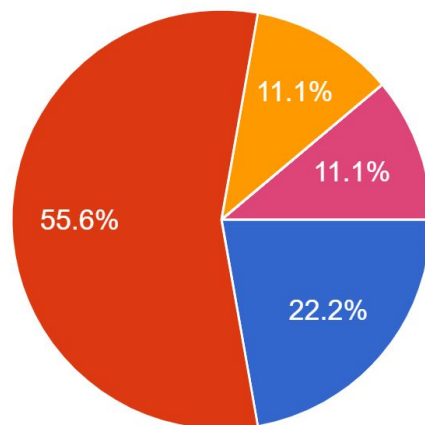
適切だと思うハッカソンの頻度を教えてください

9 件の回答



適切だと思うハッカソンの開催のタイミングを教えてください

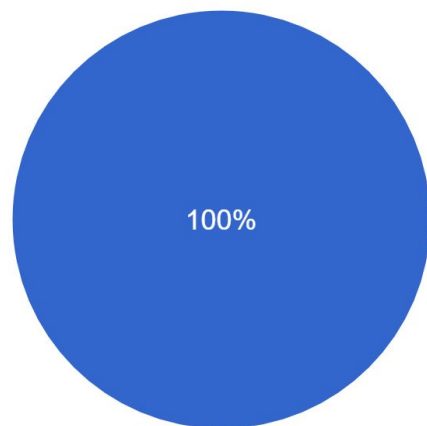
9 件の回答



- JANOG前週の土曜日 (今回)
- JANOGの前日
- JANOGのDay1
- JANOGのDay2
- JANOGのDay3
- JANOG以外のタイミング
- JANOG前週の平日

ハッカソン運営委員の関わり方は適切だったでしょうか

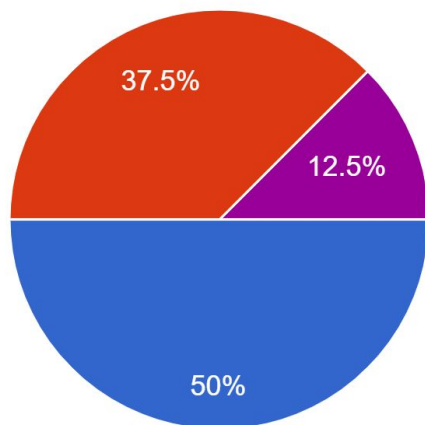
8 件の回答



- 適切だった
- もっと助けてほしかった
- もっと放っておいてほしかった

運営が提供した開発環境はいかがだったでしょうか

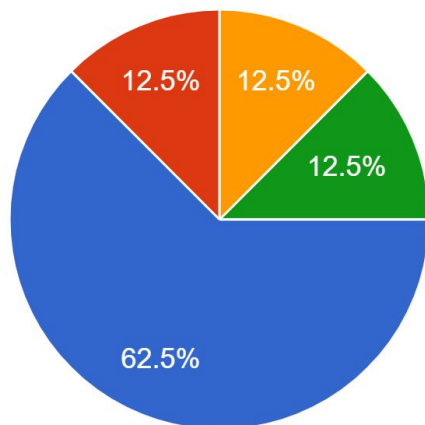
8 件の回答



- 利用したが、とても良かった
- 利用したが、良かった
- 利用したが、良くなかった
- 利用したが、とても良くなかった
- 不要だったため、利用しなかった
- 必要な構成でなかったため、利用しなかった

当日の開発に専念できるよう、環境に関する事前相談やアイデアソンのディスカッションを企画しました。いかがだったでしょうか

当日の開発に専念できるよう、環境に関する事前...ションを企画しました。いかがだったでしょうか
8 件の回答



- 参加したが、良かった
- 参加したが、良くなかった
- 相談ごとがなかったため、参加しなかった
- 都合がつかず、参加しなかった
- 開催されていることを知らなかった

運営側は「事前にできる相談・調整はすませ、当日は時間を有意義に使ってもらいたい」と考えています。そのためのアドバイスがあれば教えてください

要素技術の検証や習熟は必要だと感じました。

初心者練習用に「ssh接続してサーバーを動かしてみよう」というような会があれば参加したかったです

当日朝の参加者の自己紹介などは短めでよいかもしれません。

参加してよかったと感じた点を教えてください

接点のなかった方と交流できたこと

社内でも普段あまり一緒に開発しない別チームの人と一緒に開発したり、普段使わない技術に触れることができて良かったです。

新しい技術に触れられた

他部署の先輩や同期と一緒に開発ができて楽しかったです。1から何かを作る経験は非常に有意義に感じました。

他の参加者が開発するツール等のアイデアがとてもよかったこと

1日集中して開発にチャレンジするという機会ができるのは良かった

集中して開発する時間を確保することができた点。

参加してよくなかったと感じた点があれば教えてください。

平日開催でよかった

リモート開発が難しかった

hackathon初心者なので、当日の朝までどのように進んでいくのかわからず心配でした

アイデアソンがオンラインだからか他チームとの交流があまり出来なく、チーム内でやること決めて環境の相談をする場のようになっていたのが残念だった

自分たちのペース配分の問題もありますが、やはり時間がもう少しあるとなおいいなと思います

オンラインでの開催でしたが、やりづらかった点や今後改善すべき点などのアドバイスがあれば教えてください

そもそも慣れてないので大変だった。事前のアイデアソンにデレたらよかった。

オンラインであれば次回も参加したいです

オンライン・現地混合で開発ができる環境があればいいと思います

チーム内で2組に別れていた場合、同時にその二組が話をする事が出来ないため、難しかった。

当日はとてもスムーズでオンラインでも楽しく取り組めたので特にありません。

自由コメントをお願いします

楽しかったです。ありがとうございました。

他部署の先輩・同期と共同開発することができ、非常に貴重な経験をさせていただきました

ありがとうございました

運営大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

まとめ

オンライン開催のメリット

- ・オフラインでは参加の難しい方にも参加いただくことが出来た
- ・開催日程の融通が利きやすい

オンライン開催のデメリット

- ・企業間の壁を超えたハッカソンを行うことは難しい
- ・休日 お子さんのいるご家庭の場合
- ・平日 チームによってはオフィスに集まっての開発は難しい

アフターコロナのハッカソン

オンライン・オフラインの融合したハッカソンを模索して見ても面白いのではないか